

1月例会「機青連流の学び」

1月30日 於 食事苑京阪

高木金属(株) 高木正司

平成19年1月30日食事苑京阪2階会議室において1月例会(中核人材育成事業)が開催されました。講師に(株)富士精工代表取締役松岡俊秀氏を迎え、「機青連流の『学び』とは」と題し御自身の経験談と今後の方向性、機青連の歴史、その中で生まれたかけがえの無い仲間達、そしてどれだけ御自身がその仲間達に助けられたかを赤裸々に熱く語って頂きました。

機青連初代代表幹事(当時は議長)長島精工(株)長島社長様から機青連の10周年を代表幹事として迎えられた御自身までの歴代代表幹事当時の写真とコメントを紹介され、その方々にまつわる御自身のエピソードや会社の経営理念を始めどれだけ多くの影響を機青連の仲間達より受けて来られたかを機青連の歴史と共に振り返って頂きました。

24歳での先代(父親)の急逝に伴う社長就任より現在に至るまでを「松岡俊秀25年の波瀾万丈の軌跡」と称し、どんぶり勘定の経営から数字に強い経営への移行、社員一人一人よりまず不満を聞き出しそれを会社全体の目標へ向けた推進力へと変換させた手法、また職務の分掌とそれに伴い各分野・部署での評価の導入など御自身と会社の成長の過程を説明頂きました。

「生みの苦しみ」を「生みの楽しみ」に自ら変えていった機青連の仲間に影響され、「生みの苦しみ」から強靱な「チーム富士精工」結成へと尽力された経験談、その後の「機械(機会)を創るピカイチ社員達」と社員一人一人を紹介される姿にはいつもと違った?松岡社長を垣間見ました。

最後に「機青連流の学び・遊び・そして仲間」のお陰で今日の「松岡俊秀」があると結ばれました。今までの中核人材育成事業の講義で学んできた事は、本当に離れたところでの講義であるような感覚(ギャップ)を感じていた機青連メンバーも多いと思います。事実私も、どのような工程で進めば良いか?最初は何から取組めば良いか?あまりに現実とかけ離れ過ぎて混乱してしまっておりました。今回の講演はその一つ一つの島(理想像)への架け橋になるお話だったと思います。やはり松岡社長はミスター機青連ですね?(私の中での印象です。)

また、次世代の人々に伝える姿・・・「育とう・育てよう・育ち合おう」の姿を社内でも実践し、今回の講師を就業中の社員さん2名参加と共に、二つ返事で快く引き受けて頂いた生田社長、本当に御世話になりました。ありがとうございました。